

埼玉不審死 女を逮捕

車で練炭 男性殺害容疑

埼玉県内で昨年8月、東京都千代田区の会社員大出嘉之（おおいで・よしゆき）さん（当時41）が乗用車内で死亡しているのが見つかった事件で、県警は大出さんを殺害したとして、同豊島区に住んでいた無職木嶋佳苗（きじま・かなえ）容疑者(35)＝詐欺罪などで起訴＝を殺人容疑で1日、再逮捕した。木嶋容疑者の周辺で他にも3人の男性が急死しているとして、千葉県警などと協力し、木嶋容疑者の関与を調べる。

埼玉県警によると、木嶋容疑者は昨年8月5日、埼玉県富士見市内の駐車場に止めたレンタカー内で練炭に火をつけ、大出さんを一酸化炭素中毒で殺害した疑いが持たれている。

遺体は翌6日朝、発見されたが、遺体から睡眠導入剤の成分が検出されたり、現場の状況に不審な点があったりしたことから、自殺に偽装した殺人の疑いが強いとみて県警が捜査を進めていた。

その結果、木嶋容疑者が、かかりつけの診療所から何度も睡眠導入剤を処方され、インターネットで練炭や七輪を購入していたことなどがわかった。

木嶋容疑者は、大出さんとインターネットの結婚相手紹介サイトを通じて知り合い、交際していた。県警の調べに当初、遺体発見前日の5日に大出さんと一緒にいたことは認めたが、「けんかして別れた」などと説明し、死亡への関与は否定していた。

大出さんは死亡直前、自身のブログに「今夜から2泊3日で相手と旅行に行きます」と書き込み、大出さんの口座からは事前に約470万円が引き出されていた。

県警は、大出さんら6人の男性に結婚話を持ちかけて現金をだまし取ったなどとして昨年9月以降、詐欺や詐欺未遂、窃盗の容疑で逮捕、再逮捕を繰り返す一方、大出さん死亡への関与も調べてきた。